

第32回 佐倉市地域公共交通会議 議事録

日 時	令和5年11月13日（月） 午後2時00分から午後3時00分
場 所	議会棟1階 全員協議会室
出席者	○ 出席委員 渡邊 友樹委員、富田 篤史委員（代理：根本氏）、 佐藤 克己委員、村中 博之委員、和田 賢太郎委員、 嶋田 哲夫委員（代理：吉田氏）、山本 崇史委員、成田 齊委員、 高山 和征委員、金子 雅弘委員、三枝 稔委員、兼坂 誠委員、 高橋 直人委員（代理：山口氏）、宮下 直也委員、 石井 健司委員、小野寺 正朋委員、山本 淳子委員 以上17名 ○ 事務局職員 鈴木都市計画課長、梅澤主査、金子主査補、長坂主査補、檜垣主任主事、佐藤氏（株式会社長大）、湯田氏（株式会社長大） ○ 傍 聴 人 2人
配布資料	・ 委員名簿 ・ 会議の運営について 資料1 佐倉市地域公共交通計画基礎調査の実施状況について 資料2 佐倉市コミュニティバス運行内容の見直しについて
議 事	1、地域公共交通計画基礎調査について 2、佐倉市コミュニティバス運行内容の見直しについて

1 開会

2 委員紹介

3 会議の運営について

○議長

それでは、次第に従い会議を進めさせていただきます。議事に先立ち、会議の公開または非公開の決定と、本日の会議の議事録の署名人の指名をさせていただきたいと思います。

本日の会議につきましては、非公開に該当する事項が含まれていないことから、佐倉市情報公開条例に基づき、公開としてよろしいでしょうか。

（異議なし。）

○議長

はい。ありがとうございます。それでは公開とさせていただきます。

次に、議事録署名人につきましては、和田委員と金子委員にお願いいたします。
和田委員と金子委員には、後日議事録の確認とご署名をお願いいたします。
それでは、事務局は本日の会議の傍聴人の有無の確認をお願いします。

○事務局

2名いらっしゃいます。

○議長

本日の会議は傍聴希望者が二名ということで入室していただきます。しばらくお待ちください。

(傍聴人2名入室)

それでは傍聴人の方に申し上げます。お手元に配布している傍聴要領をご確認いただき、内容を遵守くださるようお願いいたします。また、本日お配りしています会議資料につきましては、会議終了後に事務局にて回収させていただきますので、ご協力をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

それでは早速ですが、次第に従い議事を進めます。議事の①佐倉市地域公共交通計画基礎調査の実施状況について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

(資料1に基づいて説明)

○議長

はい。ありがとうございました。

それではただいま事務局から説明のありました、佐倉市公共交通計画基礎調査について、何かご質問ご意見がありましたらお願いしたいと思います。なかなか途中経過ということなので、ご意見とかこの場では出にくいかもしれませんが、何かございますか。よろしいですか。

そうしましたら、また個別にご意見等あるということであれば、事務局の方にお寄せいただければと思います。

それでは、先ほどスケジュールの説明もありましたが、引き続き事務局の方で事務を続けていただくようお願いしたいと思います。

それでは次の議題に入ります。議事の②佐倉市コミュニティバス運行内容の見直しについて、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

(資料2に基づいて説明)

○議長

はい、ありがとうございました。ただいま、コミュニティバスの運行内容の見直しについての説明がございましたが、何かご質問ご意見があればお願いいたします。

バス協会理事、成田委員。

○成田委員

はい。千葉県バス協会の委員の成田でございます。よろしくお願いします。ただいま資料の2で、詳細なご説明いただきまして、佐倉市コミュニティバスの運行内容の見直しについては理解いたしました。

資料の14ページを拝見しましても、今後のスケジュールというので、詳細に整理されているのですが、ここで一つ伺いたいのは、佐倉市内のコミュニティバスと同じように、路線定期運行という民営事業が走っているわけでございます。

そういう中で、昨今の物価の高騰等、様々な諸要因によりまして、この路線定期運行のバス事業では、運賃改定が行われて、若干従来よりも少し上がった状態になっています。佐倉市のコミュニティバスは導入されてから、当時一般路線定期運行に影響がないということで、この公共交通会議で決めて走り出しています。

今回の運行内容の見直しについて、運賃という言葉が入っていないですけども、影響がないのかどうか、路線定期運行のバス事業者との協議というのが行われたのかどうか説明がなかったのですけども、この運行内容の見直しを先にやって、この運賃の差っていうのはどのように考えているのか。

まず1点目は、運賃がコミュニティバスと一般路線定期で、若干違っている部分の問題がないかという、意見照会があったのかどうか。

2点目は、この見直しは運行内容の見直しですけど、運賃の格差については、どのようにお考えになっているのか、この2点を今の時点のお考えで結構ですので、伺いできればと思います。

○議長

それでは今ご説明のありました2点について、事務局の方からご説明をお願いします。

○事務局

運賃につきましては、現在のところコミュニティバスに関しては改定という方向性は決まってはいたんですけども、社会的な状況として運賃の値上げというところを、我々も把握はしているところでして、事業者協議の中でも、コミュニティバスと民間の路線バスの運行エリアで競合する部分は少ないような設定で、今のところ動いているのですけども、必要に応じて、運賃の差の影響が民間事業者さんにも影響がないように、こちらでも把握をした上で、対応は考えていく必要があると考えております。

以上です。

○議長

今のところ、運賃の改定は予定していなくて、協議も今のところ行ってないということですのでよろしいですか。

○事務局

はい

○成田委員

すいません。今のところ、協議・照会もしてないということで、今後、運賃の格差が、いろいろと支障があるような場合は、今後対応を検討して参りたいというようなご説明をいただいたと思います。

今の状況として、一つ情報提供させていただきたいのは、いわゆる路線定期運行もそうですし、佐倉市のコミュニティバスも運賃を設定変更する場合、この10月から道路運送法の改正が施行されています。4月には公布されていますが、従前は佐倉市コミュニティバスの運賃はこの協議会で決定することができた。ここで協議して決まって走っているわけですけど、この10月の改正で運賃に関する協議は、この公共交通会議と別な協議会を佐倉市が設置して行くと。

ただ協議会でやるだけでなく、あらかじめ公聴会等でここにいる構成員だけじゃなくて、幅広く意見を求めて、その対応した内容を、新たに設置する運賃に関する協議会にかけて決めるということでもあります。

その協議会のメンバーは、当該事業者と、運輸支局と、あと市役所等。ここにいらっしゃる方々のほとんどが、運賃の協議会には入らないような状況ですので、バス協会からお願いしたいのは、そういう運賃のことを決める前に、この公共交通会議で、情報として提供していただいて、最終的には公聴会を踏まえてからその運賃協議会がありますから、事前に公共交通会議に様々な情報があると思いますので、ぜひ情報提供していただいて、間違いのないような形でやっていただければと思っていますので、よろしく願いいたします。

私から以上です。

○議長

事務局の方、お願いいたします。その他、バス事業者さんとかから何かございますか、大丈夫ですか。よろしいですか。

それでは、佐倉市コミュニティバスの運行の見直しにつきましては、引き続き事務を進めていただくようお願いいたします。

本日予定していた議事は以上となりますが、その他、委員の皆様から報告等がありましたら、挙手をお願いいたします。はい。小野寺土木部長。

○小野寺委員

土木部長の小野寺です。

私の方から自転車、今私の部署で検討している自転車活用推進計画、それから自転車ネットワーク計画というのがあります。そちらの関係について、ちょっとお願いがございますので、お時間をちょうだいしたいと思います。

事務局さんすいません、ちょっと資料の配布をお願いします。お手元の方に渡りましたでしょうか。座って失礼いたします。

今、佐倉市の土木部で、自転車活用推進法という、法律に基づいて、自転車活用推進計画、それから自転車ネットワーク計画の策定作業を進めております。

こちらは自転車を、計画の構想というところに記述してございますが、自転車を活用することによって市民の健康増進や観光拠点の活性化、それから環境負荷などの低減、などを目的として計画を作ることになってございます。

これは国土交通省が所管する法律でございまして、この計画を策定するにあたり、市内の交通事業者さん、道路管理者、警察の関係者それから市民の一般市民の方からご意見をちょうだいして策定することが推奨されておりました、この交通会

議の構成メンバーの方々からご意見を伺うことが一番適しているであろうと私ども考えております。

これに当たりまして、ご協力のお願いなのですが、私どもまだ素案とかを作成中でございます。今後ですね、この素案がある程度でき次第、またこの交通会議の方に、皆様の方にご提案をさせていただきまして、ご意見をちょうだいしたいと考えてございます。

下の方にご協力のお願いと書いてございますが、来年度の上期もしくは次回ぐらいに素案等のご提示ができるかと思えます。その時に、ぜひ皆様のご協力をいただきまして、ご意見をちょうだいして、その計画の方に反映等をできればと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。担当がいるので、紹介だけさせていただいてよろしいですか。

今日担当を連れて参りましたので、紹介させていただきます。私、土木部の小野寺でございます。並んで次にいますのは道路建設課の永田でございます。その次道路建設課の小坂部でございます。以上３名で担当してございますので、ご協力の方よりしくお願いいたします。

以上でございます。

○議長

はい。ありがとうございました。

それではただいまのご報告につきましては、これからお願いをするという、事前のお知らせということで、また正式なものができて、皆さんにご協議いただくということになった場合には、その際、また改めてご説明をして、皆さんご了解のもとに進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

その他、ございますか。全般にわたる何かご意見、お話でも構わないと思いますが、せっかくの機会ですので、もしあれば。

市民委員の三枝委員。

○三枝委員

はい。今の自転車の活用に関して、実は観光立国に関して全国でこの自転車を活用した、そういう地域振興っていうのがあります。

例えば三重県の伊勢志摩、あちらはアップダウンがすごくあります。外国のツーリズムの関係もありますけれども、確か電動自転車も利用して、広範囲にその自転車が利用できるというふうな仕組みを作ったりしています。全国各地でそういうことがありますから、この佐倉っていうのは、本来は観光資源もすごく多いと思います。それが有効に活用されてないということですから。

もちろん市民全体の自転車の活用に加えて、ぜひそういう地域振興とか、観光とかそういった観点から総合的なプランニングをして欲しいと思います。

以上です。

○議長

はい。ありがとうございました。よろしくお願いいたします。その他ありますでしょうか。

○金子委員

はい。市民委員の金子です。

先ほどアンケート、膨大な量をしていただいて、私前回、余りにも量が多過ぎるのではないかっていう意見を申し上げたのですけれども。立派な結果が出てきていると思いました。

ただ、交通事業者さんの方はいろんなことを問題に抱えているかなと思いますけど、我々利用者側として考えたときにこのアンケートをぱっと読むと、要するに今車を利用しているからあんまり問題ないよねっていう意見で、おそらく取りまとめられているように感じます。

ただ、前も申し上げたのですけれども、我々もここに移り住んでもう30年たち、いずれ運転ができなくなるという時期のことを想定して、この交通会議っていうのは、運営されるべきなんじゃないかなというふうに思います。

アンケートの中でも、免許を返上したらっていうことを1割の方ぐらいの方は思っているのかもしれないけど、後の方々はずっと運転するっていうつもりで、このアンケートを書いているなと感じましたので、問題点が見えてきてないのではないかなというふうに思います。

今回のアンケートはあくまでも現状の把握ですから、これはこれで構わないのですけれども、市としての行政としてのやっぱり企画、あるいは将来への展望を考えたときには、10年後の佐倉市のあるべき姿、都市の形とか、人口構成とかっていうことを考えて、今、交通事業者さんと議論をするべき時が近づいているのではないかなというふうに思います。

今、法的にも白タクができるとか、いろんな過疎地域の交通問題っていうのは、あちこちで議論されているし、技術革新で無人の運転っていうのも、始まっているというようなこともありますので、ぜひこの交通会議をこれから続けていく中での課題として、今回種を植えていかななくてはならないのではと思います。

以上です。

○議長

はい。ありがとうございました。

今、金子委員から最近取り巻く状況のご説明がありましたけれども、そういったものも踏まえて、今後の将来像を見ながら、計画を作っていくということで、事務局の方でもお願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。金子委員。

○三枝委員

すいません関連して。

○議長

はい。三枝委員。

○三枝委員

三枝です。今の金子委員のお話に関連しまして、前回ソフトバンクが茨城県栄町で無人のモビリティの実験をしているというお話が出ていました。以前、私は課にぜひ見学に行ったらどうかということを言っております。

それで、10月13日付の日経新聞に、茨城県の土浦市や、こちらに京成グループ

の方いらっしゃるのですが関東鉄道の縦断な団体で作る、土浦 Maas 推進協議会というものを作っているそうです。これは人工知能で最適なルートを走る、AI デマンドバスを使った実証実験だといっています。最短距離で円滑に移動できるという工夫をしていると。これをさらに読んでいきますと、例えば、乗車日の7日前から20分前まで受け付ける。これが前のデマンドだったら2時間前に受け付けですね。ですから圧倒的に現在のAI化が進んでいるわけです。国の行政推進会議でも、交通部会というのがあるわけです。そこでもいろんな議論があると聞いていますので、ぜひ情報交換をして、最新情報を得る。

先日、新聞の取材を受けました。私ユーカリが丘ですけれども。一つは、山万さんのモノレールが老朽化していると。故障が多いです。代わりにバスがあるでしょうと。それについて、どう考えますかって聞かれました。なぜ取材受けたかは、よくわからないですけど、そんな取材がありまして、いずれ記事になると言っていました。

佐倉市より茨城県なんかもっと進んでいます。深刻度が違うと思います。ここは大変便利です。本当にしっかりした路線バスがある上に、またコミュニティバスとか、山万さんのモノレールもありますし、だからこそ、今しっかりとね、さらにそれを発展させ統合して、AI かなんかも利用して住民がしっかりと楽しく、利便を得て暮らせるようなそういう仕組みを作りたいと、私はそのように思います。

こういうアンケートとか現状のことはいいですけど、やっぱり将来像をきちっと詰め示していくべきだと、私は思います。すいません、ありがとうございました。

○議長

現状では、バス会社さんも路線を走らせていただいていますし、コミュニティバス、それから山万の交通とか、充実している部分あるでしょうけれども、将来的なことも、金子委員からもありましたが、そういうのを見据えた上で、アンケートの結果も重要ですけど、それ以外にもいろんなところの情報を収集していただいですね、よりよい計画になるように進めていただきたいと思います。

事務局から何かありますか。いいですか。

○事務局

委員からもいただいたように、今の佐倉市では民間バス会社さんも頑張ってくれていますし、我々もそれを補完する形でコミバスを動かしています。山万さんのモノレールもしかり、公共交通の環境としては恵まれている環境にあるというのが、現状であると思います。

もちろん地域差がある部分もあって、南部地域に関してはなかなか公共交通ではフォローできない部分もあるという課題も認識しているところですけども、佐倉市として、今ある民間さんの動かしてくれている公共交通と、佐倉市で補填をしている公共交通のバランスが、将来的にこういったものが佐倉モデルとして、一番最も発展というか、継続していけるものなのかというのをイメージとしてとらえていまして、それを計画に反映できるような形がいいなというふうに、事務局サイドとしても考えておりますので、また皆さんにもご意見をお伺いしつつ、次の交通計画を定めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いします。

○議長

はい。ありがとうございました。それでは、それ以外に何かご意見ありますか。
成田委員。はい、お願いします。

○成田委員

私からその他ということで、自転車活用推進計画と自転車ネットワーク計画について、コメントさせてもらいたいのですがよろしいでしょうか。

来年の6月の上期に、計画案を公共交通会議の委員にご提示いただき、意見をもらいたいというようなお話をいただきまして、今日これを初めて見ましたので、私もバス事業の中で、こういうのを考えていただくとありがたいと、いわゆる要望までいかないですけど、期待させていただきたいのは、まず佐倉市のふるさと広場でたくさん自転車を貸し出しして、佐倉市外から来た方の自転車の利用も、大分進んでいると理解しております。

一方で、この地域公共交通を支えるバス事業から見ますと、佐倉市内の市役所の周辺もかなり道が狭いようなところがあって、歴史博物館から駅まで、車が入れない細い道もあります。そういう個性に満ちた道を選びながら行くというのがありますが、バス事業からいうと、狭い道でもバスは変わらず路線を走っています。自転車による計画を進めることについて全く異論はないですが、安全という面で、自転車の専用道を作れとは言いませんけれども、狭い道で自転車がたくさん走りながらバス路線も動かすということであれば、安全にこの計画をどういう風にやるかという視点も、考慮していただくと大変ありがたいと思います。

それからヘルメットについてですが、今、努力目標ということで道路交通法の方も運用は始まっているのですが、努力目標でありヘルメットをかぶっている方が少ないということで、中学生は皆さんかぶっているのですが、なかなか普及も進まない状況です。義務化しろとかいう話じゃなくて、この計画を作っていくときに、先ほどの安全もそうですけど、万が一の時に、どのように乗ってらっしゃるサイクリストを守るのかという視点を持ってほしい。ネットワークとか広げていくというのは大変いいことですが、安全という部分も考慮して、6年の上期に計画を見せていただくと、大変ありがたいと思いましたので、期待を述べさせてもらいました。

○議長

はい

○小野寺委員

土木部長の小野寺です。ご意見ありがとうございます。

私も、この佐倉市の道路を管理するものとしても、道路が狭い中でバス事業であったり、タクシー事業であったり、皆さん交通事業者さんが市民を運んでくれており、その中で、また自転車を活用した計画を作るということで、一応我々の方としてもその安全面で、何かうまくすみ分けができる道路で、こちらのルートは自転車を使えますけど、できるだけこちらのルート、バスとか大型車の通らないルートを走ってくださいみたいな形で、計画が作ればいいなと今は考えております。

その辺のことを、今後ご提案できるようになるといいなと思っております。今回、ご意見いただきましたので、考えながら作って参りたいと思っております。

今日はご意見ありがとうございます。

○議長

ヘルメットの方もいろいろ対応は考えていますので、補足します。その他ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは最後に連絡事項について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

それでは事務局からご連絡をさせていただきます。

本日、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえまして、事務を進めて参りたいと思います。今年度、交通会議としては3回予定しておりまして、次回、3回目の会議は年が明けて、2月ぐらいの開催を予定しております。詳細な日程につきましては、委員の皆様にも改めて予定をお伺いして、調整させていただきたいと思います。

今回、会議資料をお手元に届ける日程が、直前になってしまったことを改めてお詫びさせていただきたいと思います。次回はそんなことがないように、事務局一同対応を考えて、早めに皆さんに資料提供できるようにしていきたいと思います。

以上となります。

○議長

はい。ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして第32回地域公共交通会議を終了いたします。ご協力ありがとうございました。